
【講 義】

国立国会図書館における 和古書書誌データ作成

講師 沢崎京子

(国立国会図書館利用者サービス部人文課主査)

国立国会図書館における和古書書誌データ作成

(利用者サービス部人文課古典籍係 沢崎京子)

0. 国立国会図書館の古典籍資料

- 古典籍資料室（東京本館 3 階）で提供（月～土、9:30-17:00）
- 人文課古典籍係が所管（課長補佐 1 名、整理閲覧班 4 名、保管班 4 名、事務補助員 2 名）
- 約 28 万冊を所蔵（平成 27 年度国立国会図書館年報による）
 - うち貴重書(1,292 点)準貴重書(794 点)等（重要文化財 10 件を含む）
 - 和古書（江戸期以前、～1868）：奈良時代から所蔵。江戸期以後は、古活字版をはじめ分野を問わず充実。
 - 漢籍（清代以前、～1912）：万遍なく所蔵するが、族譜、地方志は特に多数所蔵
 - 西洋古典籍（～1830）：出版文化史、日本関係、科学史関係が中心

1. 和古書収集の歴史（※主なコレクションのみ）

明治 5 年 書籍館（文部省）

この時の蔵書約 11 万冊（昌平坂学問所からの漢籍、和学講談所からの国書、大学南校の洋書等）の大部分は、太政官博覧会事務局と合併・分離後に東京書籍館になった時、博覧会事務局の所管する浅草文庫へ

明治 8 年 東京書籍館

旧藩校蔵書 43,630 冊を文部省より交付（明治 11 年追加分を含む）

明治 10 年 東京府書籍館

明治 13 年 東京図書館

明治 16 年 榊原芳野（1832-1881 国学者）旧蔵書 6,157 冊寄贈

明治 27 年 宗家文書 1,553 冊外務省より移管（平成 19 年度重要文化財に指定）

明治 30 年 帝国図書館

明治 32 年 大惣本（貸本屋大野屋惣八旧蔵）約 9,000 冊購入

明治 38 年 旧幕引継資料を東京府より永久寄託（明治 27 年寄託）、
5,956 冊 26 袋 122 帙 3 帖 288 張 2 括（町奉行所記録類）

明治 39 年 京都円光寺旧蔵書約 1,300 冊購入

明治 41 年 水野年方（1866-1908 日本画家）旧蔵書約 660 冊寄贈

明治 42 年 小宮山叢書（小宮山楓軒 1764-1840、孫南梁 1829-1896 自筆稿本類）
約 700 冊購入（追加購入含む）

大正 2-3 年 小杉楹邨（1834-1910 国史国文学者）旧蔵書約 600 冊購入

大正 4 年 今泉雄作（1850-1931 美術史家）旧蔵 248 冊 2 帖 3 軸 51 通寄贈

昭和 6 年 冑山文庫（根岸武香 1839-1902 考古学者）3,500 冊 119 帖 42 軸 325 枚寄贈
（古文書・地誌類）

昭和 15-17 年 白井文庫（白井光太郎 1863-1932 植物学者）約 6,000 冊購入（本草関係）

昭和 18 年 新城文庫（新城新蔵 1873-1938 宇宙物理学者）約 12,000 冊購入（天文・暦学）

昭和 18-19 年 亀田文庫（亀田侯吉氏基金による）793 冊購入
昭和 19 年 伊藤文庫（伊藤圭介 1803-1901 本草学者）約 2,000 冊購入（本草関係）
昭和 20 年 宮田文庫（宮田脩 1874-1937 女子教育家）和洋書 1,176 冊購入
岡田文庫（岡田希雄 1898-1943 国語国文学者）約 1,400 冊（国語学）
陸軍士官学校より移管

昭和 22 年 国立図書館

昭和 23 年 国立国会図書館

昭和 23 年 有松英義（1861-1927 元枢密院書記官長）旧蔵書約 3,000 冊
衆議院より移管
尾島碩宥（1876-1948 方鑑家相・暦学研究家）旧蔵古暦
90 冊 45 枚 13 帖 6 軸購入
昭和 24-28 年 弥富破摩雄（1877-1948 国文学者）旧蔵書約 2,000 冊購入
昭和 24-29 年 亀田文庫（亀田次郎 1876-1944 国語学者）約 6,900 冊購入
昭和 25 年 鵜軒文庫（土肥慶蔵 1866-1931 医学博士）約 7,900 冊購入（コレクションのうち漢詩文関係のみ）
斑山文庫（高野辰之 1876-1947 国文学者・演劇学者）180 冊購入（音楽関係）
昭和 52 年 長谷川家（越後新発田藩医）旧蔵約 1,600 冊寄贈
昭和 62 年 渡辺敏夫（1905-1998 暦学研究者）旧蔵書約 5,000 点寄贈
堀田両平（1913-1989 堀田時計店 4 代目）旧蔵書約 6,000 点寄贈
平成 9 年 気象庁図書館より 165 点寄贈
平成 10-12 年 特許庁図書館より約 1,600 冊寄贈
平成 13 年 小野家旧蔵書 105 冊寄贈（うち 11 タイトルは「小野蘭山関係資料」として平成 27 年度重要文化財に指定）
平成 22 年 矢野宗幹（1884-1970 昆虫学者）・長谷川仁（1918-2006 昆虫学者）旧蔵書 345 冊寄贈

【現在の収集状況】

「資料収集方針書」に基づき文化史または学術上重要なものを厳選して収集（購入・寄贈）

- 国立国会図書館ホームページトップ > 国立国会図書館について > 蔵書構築 > 資料収集方針書 に掲載。

<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/collection/pdf/housin.pdf>

2. 目録作成およびデータベース化の状況

冊子目録→データベース化

東京書籍館以来、多数の冊子体の蔵書目録を刊行（新刊書と混排）。

1977年～目録のデータベース化が開始され、和古書も和図書に混じって入力される。

和古書書誌データベースの構築

① 1997年12月～和古書書誌データベースの作成開始

日本目録規則1952年版及び同1987年版改訂版等を参考にして、和古書の特性に応じた入力方法を検討し、独自の入力マニュアルを作成する。戦後（1948年以降）受入分を中心に約5,500件を入力。

②2000年12月～「国書基本データベース」を利用した遡及入力

国文学研究資料館の「国書基本データベース」（現在は「日本古典籍総合目録データベース」）から当館所蔵資料の著作データを抽出し、追記・訂正を加える方式で書誌データを作成。戦前（東京書籍館、東京図書館、帝国図書館時代）受入分及び未入力の戦後受入分の大部分（合わせて約35,000件）について入力。「国書基本データベース」の書名、著者名をほぼそのまま使用しているため、記述の正確さに欠ける面がある。

③2003年1月～「日本目録規則1987年版 改訂2版」和古書適用細則の適用

2003年1月、和古書書誌データベースを「統合書誌データベース」^{【注】}に移行。それに伴い、「日本目録規則1987年版改訂2版」に準拠したマニュアルを作成して、入力規則を変更する。

【注】1999年より、当館は「統合書誌データベース」を開発。従来、資料群（和図書、洋図書、和雑誌・新聞、洋雑誌・新聞など）によって異なっていた書誌データベースを順次一本化。日本目録規則及び英米目録規則第2版を基本としたデータ構造で、資料群ごとの入力規則も可能な限り共通化することを目指している。このDBはシステム変更後も引き継がれている。

2009年8月「日本目録規則1987年版 改訂3版」和古書適用細則に改訂

2012年1月～ MARC21フォーマット採用とデータ作成・提供システム変更に伴い、「和古書適用細則」をさらに改訂



3. 国立国会図書館「日本目録規則 1987 年版 改訂 3 版」和古書適用細則について

- 当館ホームページ (<http://www.ndl.go.jp/>) トップ>図書館員の方へ>書誌データの作成および提供>書誌データ作成ツール：日本目録規則適用細則 に掲載
- 標目は同ページ「日本目録規則 1987 年版改訂 3 版 第Ⅱ部 標目」適用細則 (2012 年 1 月)」を参照

(0) 日本目録規則と国立国会図書館の和古書適用細則

2001 年 日本目録規則 1987 年版 改訂 2 版
2003 年 国立国会図書館「日本目録規則 1987 年版改訂 2 版」和古書適用細則
2006 年 日本目録規則 1987 年版 改訂 3 版
2009 年 国立国会図書館「日本目録規則 1987 年版改訂 3 版」和古書適用細則
2012 年 1 月 国立国会図書館「日本目録規則 1987 年版改訂 3 版」和古書適用細則改訂

※主な変更点

- (1) Unicode/UTF-8の採用に伴い、記録する文字の範囲を変更した。
- (2) これまで各巻タイトル等として記録していたタイトル、責任表示は、部編名又は内容細目として記録することとした。
- (3) 用語の表記を『国際符号化文字集合 (UCS)』(JIS X 0221) によって統一

(1) 概要および通則

【和古書の範囲】

本文が日本語で書かれた印刷資料 (刊本) または書写資料 (写本) のうち、慶応 4 年までに刊行又は書写されたものを和古書とする。

ただし、以下に該当するものは例外とする。

ア) 慶応 4 年までに日本で刊行又は書写された日本人の著作は、本文の言語が漢文、欧文の場合も和古書として扱う。

例：『日本書紀』(漢文著作)

イ) 印刷資料については、明治元年以降の後印であることが明らかな場合は和古書として扱わない。

例：高井蘭山『女重宝記』 弘化 4 年刊 明治年間の後印本あり (弘化 4 年の刊記があるが、出版地を「東京」と直してある)

参考：『蘭学事始』 著作の成立：文化 12 当館所蔵本：明治 2

参考：『紀伊国名所図会』 初～3 編は江戸刊、後編は明治刊

ウ) 書写資料については、明治元年以降に書写されたものであっても、慶応 4 年以前に著作が成立している場合は和古書として扱う。

例：『梁塵秘抄』：昭和 2 高野辰之写

【記述の対象】

個別資料ごとに書誌データを作成する。

同版本=複本とは考えない。

原則として単行資料（または単行資料の集合）を対象とする。

同時に出版・製作されたと思われる多巻・多冊ものでも、各巻・冊によって表示されているタイトルが異なる場合がある。このような場合、「固有のタイトル」のみを基準とするのではなく、出版・製作時の意図をくみ取って単行資料か否かを判断する必要がある。

巖島図会 10巻 / 岡田清編；山野峻峯齋画 広島：樽屋惣左衛門；世並屋伊兵衛，天保13 [1842] 10冊；27cm 書名は巻1-5巻頭による 巻6-10巻頭書名：巖島宝物図会
--

【記録の方法】

- ・ 漢字は、原則として所定の情報源に使用されている字体で記録する。
- ・ Unicode/UTF-8の外字及び置き換える漢字については、『文字種の取扱い基準（2012年1月以降）』（当館ホームページトップ>図書館員の方へ>書誌データの作成および提供>書誌データ作成ツール：文字種の取り扱い基準 に掲載）による。
- ・ 変体仮名は通用の仮名に改める。変体仮名の母体となっている漢字（字母）を注記することができる。

となみ山 （注記「巻頭書名表示は「刀奈美山」」）

- ・ 判読不能の文字は「□」で表し、対応する文字数分を記録する。字数も不明のときは、「□・・・□」とする。推読した文字は、角がっこに入れて記録する。

□□屋次兵衛

字音仮 [名] 便覧

（2）各書誌的事項の記録方法

タイトル／タイトル標目

○情報源と優先順位

情報源の選択に当たっては、時代、ジャンルあるいは造本等の事情を考慮する。

- ① 巻頭、題簽、表紙
- ② 目首、自序・跋、巻末
- ③ 奥付、見返し、扉、版心、著者・編者以外の序・跋
- ④ 小口書、識語等

巻頭以外の情報源から本タイトルを採用した場合は、その情報源を注記する。

うつほ物語 20巻 大阪：河内屋源七郎，文化3 [1806] 30冊；26cm 書名は題簽による

情報源によってタイトルの表示が異なるときは、必要に応じて、記録しなかった他のタイトルを情報源と共に注記し、「他タイトル」にも検索キーとして記録する。

近代著述目録 8巻 / 堤朝風原輯；万笈堂英遵補定
江戸：西村源六；万笈堂英平吉，文化8 [1811] 序
5冊；8×18cm
題簽書名：近代名家著述目録
他タイトル：近代名家著述目録

○角書等の記録

角書は本タイトルには含めない。角書付書名を注記および「他タイトル」に記録する。タイトルの下部または後方に、形態や内容、出版に関する補足的な説明が付される場合は、タイトル関連情報として記録する。

万代節用字林蔵：改正新板 / 蘆田鈍永筆；下河辺拾水画
京都：菊屋忠兵衛 [ほか]，寛政7 [1795]
1冊；27cm
角書付書名：増字万倍万代節用字林蔵 題簽書名：万代節用字
林宝蔵(角書：増字百倍字林，副書名：日用重宝明鑑)
他タイトル：増字万倍万代節用字林蔵改正新板
他タイトル：増字百倍字林
他タイトル：万代節用字林宝蔵日用重宝明鑑

巻頭 増字万倍万代節用字林蔵改正新板
題簽 増字百倍字林万代節用字林宝蔵日用重宝明鑑

○総合タイトルが無い資料の場合

資料全体に対応する総合タイトルがなく、資料の内容をなす各著作のタイトルが表示されているときは、次のいずれかの方式による。

ア) それぞれの著作のタイトルを列記する。

おあむ物語 / 山田去暦女著. おきく物語
江戸：和泉屋金右衛門，弘化2 [1845]
1冊；26cm

イ) 総合タイトルを補う。各著作のタイトル等は内容細目として記録する。

[和歌口伝雑抄] [書写資料]
[江戸後期] [写]
1冊 ; 26cm
内容 : 和歌口伝 / 藤原家隆著. 遠所御抄. 俊成卿女文 / 越部禅尼著. 遂加 / 慶融著. 和歌庭訓抄 / [二条為世著] 和歌用意条々 / [二条為世著]. 代々集巻頭歌

ウ) 主要な著作のタイトルを総合タイトルとみなして記録する。各著作のタイトル等は内容細目として記録する。

手爾葉大概抄 [書写資料] / 定家卿[著].
明和 1 [1764] [写]
1冊 ; 25cm
内容 : 手爾葉大概抄 / 定家卿[著]. 手爾葉大概抄之抄 / 宗祇[著].

○巻次等

巻立てがある完全本の場合、巻数を本タイトルの一部として記録する。(全1巻のときは記録しない。)

蜻蛉日記 3巻
大坂 : 安井嘉兵衛, 宝暦 6 [1756]
8冊 ; 27cm

不完全本の場合、現存する部分の巻次を巻次、冊次等として記録する。

詩経名物辨解...巻1.4.7 / 松岡玄達鑒定 ; 江村如圭纂述
京都 : 林伊兵衛, 享保 16 [1731]
2冊 ; 23cm

☞ 《日本目録規則 87R3》 2.1.1.1A (古)

詩経名物辨解 7巻 (存5巻) (注記「存巻: 巻1.4.7」)

○資料種別

印刷資料には使用しない。書写資料には「[書写資料]」を使用する。

竹箒 [書写資料] / 藤原彦麻呂[著]
中島春臣 写, 文政 2 [1819]
1冊 ; 26cm

○統一タイトル標目

ある著作がさまざまなタイトルで刊行または書写される場合、統一された著作名からの検索を可能にするため、全ての和古書について統一タイトルを採用する。

記述対象資料の本タイトルと、『国書総目録』の項目名が異なる場合、『国書総目録』の項目名を統一タイトルとして記録する。『国書総目録』のほか、『黄表紙総覧』等の信頼できる参考図書から採用することもある。

広益三重韻
洛陽：中村五兵衛，元禄 12 [1699]
1 冊；16cm
統一タイトル：聚分韻略

責任表示／著者標目

○情報源と優先順位

責任表示は記述対象資料に表示されている著者等（著者、編者、訳者、校注者、画工等）を転記する。情報源の優先順位はタイトルに同じ。

情報源に著者等の表示がないが、参考資料によって著者が判明する場合は、角がっこに入れて責任表示に記録する。

和字正濫鈔 5 巻 / [契沖著]
京都：中河喜兵衛；江戸：中河五郎兵衛，元禄 8 [1695]
5 冊；23cm

○著者標目

責任表示に記録した著者等は、全て著者標目とする。著者標目は典拠ファイルに定められた統一標目の形を用いる。

東山名勝図会 4 巻 / 晴翁木村明啓，樞園川喜多真彦編；
半山松川安信[ほか]画
京都：神先向松堂，元治 1 [1864]
8 冊；27cm
個人著者標目：暁鐘成 1 世，1793-1860
個人著者標目：河喜多真彦，1818-1868
個人著者標目：松川半山，江戸末期

版に関する事項

使用しない。

記述対象資料に「新版」「再版」「増補」「改訂」等の表示があるときは、タイトル関連情報、タイトルに関する注記、版及び書誌的来歴に関する注記等として記録する。

再版菅原伝授手習鑑

【本タイトル】菅原伝授手習鑑

【注記】角書付書名：再版菅原伝授手習鑑

出版・頒布等に関する事項

○情報源

刊記、見返し、扉、序、跋等

○出版地

情報源に、旧国名、旧都市名に相当する地名が表示されている場合は、そのまま記録する。別称等、識別しにくい地名が表示されている場合は、通用の地名を付記する。

【出版地】府中（江戸）（情報源の表示：府中）

旧都市名より下位の地名は記録しない。旧都市名より下位の地名だけが情報源に表示されている場合は、旧国名または旧都市名を角がっこに入れて記録する。

【出版地】〔江戸〕（情報源の表示：通油町）

☞《日本目録規則 87R3》2.4.1.2A（古） 通油町〔江戸〕

○出版者

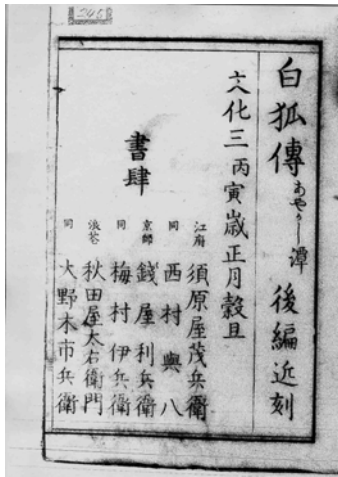
出版者は、堂号、屋号も含め、情報源の表示の通りに記録する。屋号に続けて姓名が表示されている場合でも、姓を省略しない。

【出版者】伊勢屋額田正三郎

複数の出版者の表示がある場合、2名まではそのまま記録し、3名以上のときは主な1名を記録して「〔ほか〇名〕」と補記する。主な者が判断しがたいときは、刊記に表示されている最後の出版者か、見返しに表示されている最初の出版者を選択する。

万代節用集 2巻 / 宮田彦左衛門編
江戸：英屋大助；大坂：河内屋茂兵衛，嘉永3 [1850]
2冊；13×19cm

阿也可之譚 9巻 / 石田玉山作・画
浪花：大野木市兵衛〔ほか5名〕，文化3 [1806]
9冊(合2冊)；21cm



☞《日本目録規則 87R3》2.4.1.1D（古）、2.4.2.1D（古）

江府〔江戸〕：西村與八〔ほか〕；京師〔京都〕：梅村伊兵衛〔ほか〕；浪花〔大坂〕：大野木市兵衛〔ほか〕，文化3 [1806]

出版地、出版者（頒布者）がその資料に表示されていないときは、出版地、出版者の記録を省略することができる。

日本書紀.巻 1-2 / 舎人親王奉勅撰
 慶長 4 [1599]
 1 冊 ; 29.9×21.0cm
 古活字版 後陽成天皇勅版

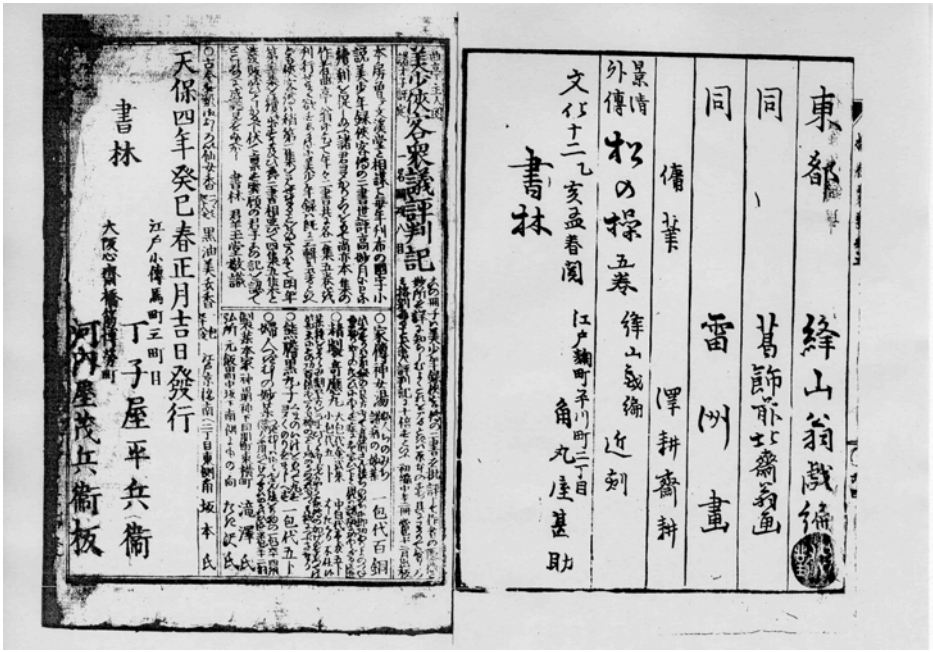
☞ 《日本目録規則 87R3》 2.4.1.2C、2.4.2.2C
 [出版地不明] : [出版者不明], 慶長 4 [1599]

○出版年

刊本については、刊・印・修にかかわらず、記述対象資料に表示されている最新の出版事項に基づき記録する。刊・印・修の別が判明する場合はその説明を注記する。

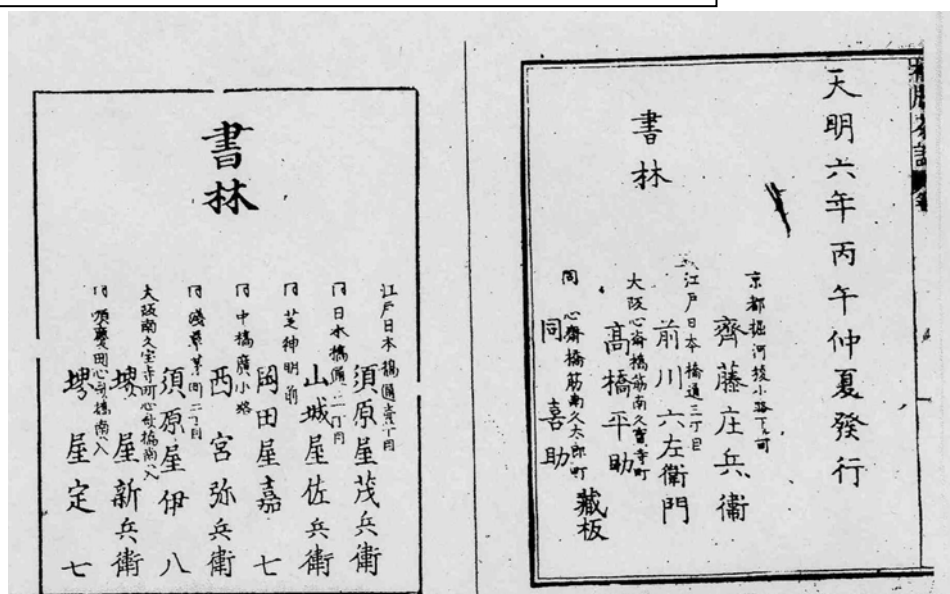
橋供養 5 巻 / 絳山編 ; 葛飾北斎, 雷洲画
 江戸 : 丁子屋平兵衛 ; 大阪 : 河内屋茂兵衛,
 天保 4 [1833]
 5 冊 ; 22cm
 文化 12 年江戸角丸屋甚助版の後印

☞ 《日本目録規則 87R3》 2.4.0.4 (古)、2.4.3.1D (古)
 江戸 : 丁子屋平兵衛 ; 大阪 : 河内屋茂兵衛,
 文化 12 [1815] [刊] (天保 4 [1833] [印])



出版年の表示がないか、あるいは表示されている情報が記録するのに適切でない場合は、おおよその出版年代を推定し、これを角がっこに入れて記録する。

橘窓茶話 3巻 / 芳洲雨森著；笹応道安道校
 大阪：堺屋定七 [ほか6名], [江戸後期]
 3冊；25cm
 巻末に天明6年大阪高橋喜助ほか3名の刊記あり



出版年の表示がなく、序、跋等に表示されている年が出版年に準ずると認められるときは、これを記録し、「序」「跋」等の語を付加する。

気海観瀾 / 青地盈林宗述
 東都：和泉屋吉兵衛, 文政10 [1827] 序
 1冊；26cm

○書写資料

書写資料の場合、出版項目は存在しないため、記述対象資料に表示されている書写地、書写者、書写年を製作項目として記録する。書写地、書写者が判明しない場合は、[書写地不明] [書写者不明]という補記は行わず、記録を省略する。

書写者は、記述対象資料に書写を表す語が表示されていれば「写」という語を記録し、表示されていない場合は「[写]」と補記する。

竹箒 [書写資料] / 藤原彦麻呂 [著]
 中島春臣 写, 文政2 [1819]
 1冊；26cm

☞ 《日本目録規則 87R3》 3.4.1.2C

[書写地不明]：中島春臣 写, 文政2 [1819]

書写者を省略した場合は、書写年の後に「写」という語を付加するか「[写]」と補記する。

建長寺人別帳 [書写資料]

[江戸後期] [写]

1冊；29cm

☞ 《日本目録規則 87R3》 3.4.1.2C、3.4.2.2A、3.4.3.2D

[書写地不明]：[書写者不明]、[江戸後期]

複数の書写者の表示がある場合は、2までのときはそのまま記録し、3以上のときは主なもの1名を記録して「[ほか○名]」と補記する。筆跡等から複数の書写者によると判断されるが、書写者の人数が分からない場合は、表示されている書写者の中から主な1名を記録して「[ほか]」と補記する。

【製作者】青木永章 [ほか2名写]

【製作者】水野源正達 [ほか写]

自筆本の場合は、責任表示に書写者（＝著者）が記録されているので、製作者としては記録しない。注記に「自筆」と記録する。

一話一言 [書写資料].[巻8] / [大田南畝][著]

[天明頃] [写]

1冊；22.6×16.9cm

自筆（他筆を含む）

☞ 《日本目録規則 87R3》 3.4.1.2C、3.4.2.2A

[書写地不明]：大田南畝.[自筆]、[天明頃]

形態に関する事項

○資料の数量

資料の数量は、冊数等（冊、軸、舗、枚、帖）を記録する。1冊の場合でも、丁数は記録せず、必要に応じて注記する。

合冊されて原装の冊数から変化したことが容易に分かる場合、原装の冊数の後に合冊後の冊数を丸がっこに入れて付記する。

卷子本、掛物は「～軸」、一枚ものは「～枚」、畳ものは「～舗」、折本、折帖仕立ては「帖」、その他（袋綴、粘葉装、綴葉装、帳綴）は「～冊」と記す。

真草二行節用集 3巻

[京都]：林重右衛門，万治2 [1659]

3冊（合1冊）；27cm

御免琉球人行列附 / 歌川国芳画

東都：平野屋助三郎：大木屋平右衛門，天保 3 [1832]

1 軸；28cm

○大きさ

大きさは、資料の外形の高さをセンチメートルの単位で、端数を切り上げて記録する。ただし、貴重書等、特に詳細な記述を必要とする資料については小数点以下1桁まで記録する。

縦長本、横長本、枡型本は、縦、横の長さを「×」印で結んで記録する。これらに該当しない資料であっても、必要に応じて、縦、横の長さを「×」印で結んで記録することができる。

卷子本は料紙の高さを記録する。

畳ものは広げた形の縦、横の長さを「×」印で結んで記録し、折りたたんだときの外形の縦、横の長さを付記する。

江戸生艶気樺焼 3 巻 / 京伝作；北尾政演画

[江戸]：[蔦屋重三郎]，[天明 5 (1785)]

1 冊；18cm

山城国細見大絵図 / 洛下百芽作；下河辺拾水書画

京都：平野屋茂兵衛 [ほか 3 名]，安永 7 [1778]

1 舗；102×189cm (折りたたみ 28×19cm)

注記に関する事項

※上記で説明済の項目等は省略 すべて NDL-OPAC の詳細検索「注記」で検索可能

○書誌学的通称名

その資料の特徴を簡潔に表現できる書誌学上の呼称があるときは注記する。

【注記】五山版

【注記】古活字版

【注記】丹緑本

【注記】奈良絵本

○本文の系統等、その資料の性質を特定できる情報がある場合、必要に応じて注記する。

【注記】竹本筑後掾正本

○蔵版者

資料に蔵版者が表示されているときは注記する。ただし、蔵版者が出版者と一致する場合は注記しない。

【注記】三余齋蔵版

○広告、蔵版目録や、発行印（出版者標章等も含む）等を情報源とした場合、情報源を記録する。

○出版事項の情報源である刊記等を、必要があるときは転記する。

○製作、印刷等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】 拓本

【注記】 銅版

○彩色

彩色が施されているときは注記する。

【注記】 色刷 （印刷資料のとき）

【注記】 彩色 （書写資料のとき）

【注記】 筆彩 （印刷資料に筆で彩色されているとき）

○刊写入り交じり

印刷と書写が混在している場合は注記する。

【注記】 刊写入り交じり

○装丁

袋綴じ以外の装丁、袋綴じの様式、帙、箱、原装等について必要に応じて注記する。

【注記】 掛物

【注記】 綴葉装

【注記】 五つ目綴じ

【注記】 書袋あり

○版式、版面

匡郭、字高、界線、行数、字数等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】 四周単辺 有界 毎半葉 10 行 毎行 19 字 上下花魚尾 白口

○料紙、表紙等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】 色変り料紙

【注記】 共紙表紙

○欠巻、欠丁、錯簡（乱丁）等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】 巻下第 25 丁以前欠

○虫損等で保存状態がよくないもの、補修があるものについて必要があるときは注記する。

【注記】 虫損あり（裏打ち補修あり）

○蔵版目録、近刊予告、広告等について説明する必要があるときは注記する。

【注記】 巻末に「北林堂蔵版目録」あり

○識語、奥書、その他の書き入れについて説明する必要があるときは注記する。

【注記】 橘千蔭の書き入れあり

○印記・旧蔵者等に関する注記

印記、旧蔵者名を記録する。印記が文字で表せない場合は、蔵書印の形や使用者を説明する。当館のコレクション名（白井文庫、伊藤文庫、亀田文庫、旧幕府引継書等）もここに記録する。

従夫以来記 3巻 / 竹杖為輕[作]；うた曆画
[江戸]：蔦屋，天明4 [1784]
1冊；18cm
印記：福田文庫，浮生亭，南畝文庫

学山録 6巻 / 藤原明遠著
大坂：吉文字屋市兵衛，寛延3 [1750] 序
6冊；26cm
亀田文庫

分類標目・件名標目

○分類

『国立国会図書館分類表』

(http://www.ndl.go.jp/jp/data/catstandards/classification_subject/ndlc.html)のうち、「W 古書・貴重書」の分類記号を記録する。

○件名

和古書については、資料の主題を表すキーワードも記録する。件名標目表は使用しないが、『国書総目録』の㊦に記載されている語句を基準にしてキーワードの統制を図る。

江戸町独案内
東都：広嶋屋庄助，天保13 [1842]
1冊；8×15cm
非統制件名：地誌

書誌データと著者名典拠（例）
 ※NDL-OPAC 画面の「ダウンロード」から、
 当該書誌データをダウンロードして使うこともできる

【資料種別】 和古書・漢籍
 【請求記号】 VF7-N224
 【タイトル】 [訓蒙天地辨 3巻 /](#)
 【タイトルよみ】 キンモウ テンチベン 3カン.
 【責任表示】 高井晒我 著.
 【出版事項】 東都：青黎閣須原屋伊八 [ほか2名], 寛政4 [1792]
 【形態／付属資料】 3冊 (合1冊)； 23cm.
 【装丁】 和装
 【注記】 印記: 佳口菴文庫.
 渡辺敏夫氏寄贈.
 【個人著者標目】 [高井, 蘭山, 1762-1838 || タカイ, ランザン](#)
 【非統制件名】 天文.
 【NDLC】 [W383](#)
 【本文の言語】 jpn
 【国名コード】 ja
 【書誌 ID】 000007475939

NDL-OPAC
 国立国会図書館蔵書検索・
 申込システム



Web NDL Authorities
 国立国会図書館典拠データ検索・提供
 サービス

4. 国立国会図書館の書誌データ作成・提供の動向

- ☆ 「新しい『日本目録規則』(新 NCR)」
国立国会図書館ホームページトップ > 国立国会図書館について > 書誌データの作成および提供 <http://www.ndl.go.jp/jp/data/ncr/index.html> に掲載。
- 日本図書館協会目録委員会との連携による新しい『日本目録規則』(NCR) の策定
 - 平成 27 年度に新規規則案の一部公開 (体現形)
 - 平成 28 年度に新規規則案全体の公開 (2 月予定)、検討集会の開催 (3 月～)
 - 平成 29 年度に新規規則案の修整、新規規則制定・公開予定
- 新 NCR の特徴
 - RDA に対応。
 - ※RDA=「英米目録規則」(Anglo-American Cataloguing Rules : AACR) の第 2 版 (AACR2) の後継規則である「資源の記述とアクセス」(Resource Description and Access)
 - RDA をそのまま適用するのではなく、日本の目録慣習や出版慣行等もふまえ、国内に広く受け入れられるものとする
- 和古書・漢籍については、RDA に規定されていないので対応が必要

参考資料

和古書・漢籍 NDL-OPAC 検索のヒント

特定のテーマについて検索したい

和古書は『国書総目録』に記されている分類(罫)の言葉から、漢籍は『国立国会図書館所蔵漢籍目録』に記されている四部分類から検索できます。

NDL-OPAC「詳細検索」の画面を開き、「資料種別」をいったん「全解除」してから**「和古書・漢籍」のみに**チェックを入れてください。検索窓のプルダウンリストから「件名」を表示させ、検索したい言葉を入力してください。

注記に入っている言葉から検索したい

「古活字版」「拓本」など、注記に入っている言葉から検索できます。

NDL-OPAC「詳細検索」の画面を開き、「資料種別」をいったん「全解除」してから**「和古書・漢籍」のみに**チェックを入れてください。検索窓のプルダウンリストから「注記」を表示させ、検索したい言葉を入力してください。

印記(旧蔵者の蔵書印)、旧蔵者名、当館のコレクション名(例：白井文庫、鵜軒文庫)については「キーワード」の欄に入力しても検索できます。

和古書(漢籍)のみを検索したい

「検索式」の画面を開き、「検索式の入力」の欄に、和古書は「W902B=171」、漢籍は「W902B=271」と入力して検索してください。

刊本(写本)のみを検索したい

「検索式」の画面を開き、「検索式の入力」の欄に、刊本は「WLD06=a」、写本は「WLD06=t」と入力して検索してください。「検索結果一覧」の画面が出てきたら、上方の「検索結果の絞り込み」をクリックします。「検索結果の絞り込み」の画面で、「資料種別」欄の「和古書・漢籍」のみを選択し再度検索してください。

漢籍のうち、和刻本(朝鮮本、安南本)のみを検索したい。

「検索式」の画面を開き、「検索式の入力」の欄に「W902B=271 and WLD06=a」と入力して検索してください。「検索結果一覧」の画面が出てきたら、上方の「検索結果の絞り込み」をクリックします。「検索結果の絞り込み」の画面で、「その他の項目」欄のプルダウンリストから「国名コード」を選択、和刻本は「ja」、朝鮮本は「ko」、安南本は「vm」と入力して検索してください。

【ご注意】

入力の時期や経緯によりデータに精粗があります。上記の検索方法も万全ではない場合があります。